

その1

環境系の探究を行うことを考え4月より話し合いをすすめました。

海岸に打ち上げられているゴミや、犬の散歩をしているときに道路わきに吸い殻やゴミが捨てられていることに注目しました。そして、ゴミのポイ捨てをなくせるようなシステムを検証したいと思いました。良ければいろいろな場所で試していきたいと思います。

そして、ゴミをポイ捨てする人が減少（拾ってくれる人が増加）するようなシステムを考案していくことにしました。出雲市の環境政策課の原様に相談し、ゴミ箱の設置方法や活動に関するアイデアなどについて伺いました。



4月 方向性の話し合い



5月16日



5月23日

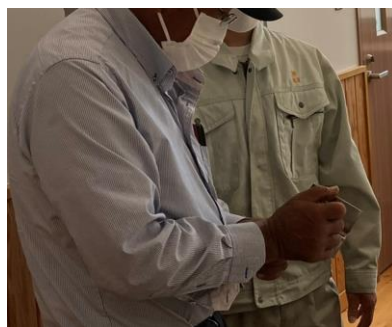
出雲市環境政策課原様と相談しました。

その2

また、もう一つの取組みとして、空き家問題など社会的な課題についても興味を持ちました。島根県は人口減少、高齢化などにより空き家、耕作放棄地など多々の課題に直面しています。今回、NPO 法人イズモ・アグロブラジルの話を聞き、耕作放棄地を用いキャッサバの栽培に取り組んでおられることを聞き、社会に役立つ取組みについても考えました。キャッサバは芯を取り除いて出荷されること、機械など高額のものでなく、道具の考案で役立てないかという思いで、道具の製作に取り組んでいくことにしました。



5月30日 スポット溶接にて



6月6日 滝波様より感想をいただきました。



5月30日 キャッサバの芯を効率よく除去するための道具を、実習棟にあった端材を使い考案してみました。

6月6日 イズモ・アグロブラジルの滝浪セルジオ様に見ていただき、感想を聞かせていただき、改善点についてヒントをいただきました。

(現状使われている道具と考案した試作アイデアについては次回の HP をご期待ください。)